

CKJS だより



令和6 (2024) 年度 CKJS スタッフ紹介



上	事務 西川 直美	1年1組担任 リッチ ふみ	事務 オートリ <small>あいさ</small> 愛沙			
3段目	中学部1年担任 ピーターソン麻梨	中学部2年担任 武藤 裕子	中学部3年担任 デック真理子	高等部担任 横山 厚子	事務 伊藤 <small>ともみ</small> 友美	
2段目	2年担任 高橋 <small>ことしこ</small> 古登子	2年副担任 青野 <small>ひろむ</small> 弘武	3年担任 セラーズ亜矢子	4年担任 菊本 聡子	5年担任 ネフ 直子	6年担任 鈴木 <small>ちえ</small> 智恵
1段目	幼稚部担任 シャルコフ真由美	幼稚部副担任 青野 <small>はるか</small> 陽空	教頭 レイク 美幸	校長 岡野 真弓	1年1組代替 <small>あずま ひろみち</small> 東 大道	1年2組担任 細川 <small>みちよ</small> 道代

運動会では大変お世話になりました。教職員一同、お子様のより一層の成長のため力を合わせてがんばって
いきます。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。今回は、運動会の振り返り作品をご紹介します。

小学部 6年 角田 昂太さん

この前の運動会で、僕は積み木リレーに参加しました。積み木リレーは楽しみ半分、不安半分で挑みました。

競技が始まると、チームメイトと息を合わせることの大切さを実感しました。積み木を運ぶ時には、スピードだけでなく、慎重さも求められました。一歩間違えると積み木が崩れてしまうので、集中力が試される場面が多かったです。

特に印象に残ったのは、チームの仲間が励まし合いながら取り組んだことです。競技が終了した時、見事に積み上がった積み木のタワーを見て、達成感でいっぱいになりました。

積み木リレーを通じて学んだことは、協力の大切さと粘り強さです。一人ではできないことも、チームで力を合わせればできると思いました。これからも、この経験を活かして、様々なことに挑戦していきたいと思いました。



「一人ではできないこともチームで力を合わせればできる」素晴らしいことを学びましたね！感激です！

6年 福田 彩七さん



私が一番心に残ったことは、赤組と白組がいっしょに歌を歌っていたところです。なぜならば、赤組と白組はてきチームなのに、赤組は白組に合わせて楽しく歌っていたからです。結局、白組が勝ちましたが、勝つことが目的じゃなくみんなで楽しむことが大事だとわかりました。私は赤組だったので負けて悔しかったです。けどみんなで力を合わせて楽しめてよかったなーと、思いました。また来年は、勝ちたいと思います。この失敗をもとにして次はどうしたら勝てるのかをよく考えて練習もたくさんしたいと思います。みんなとたくさん協力し合えてよかったと思います。

5月18日（土）は補習校の運動会がありました、僕は今まで運動場でやる運動会しか経験がないので、どんな運動会になるか楽しみでしたが、運動会が近くなるにつれてなんだか行きたくないなとも思いつつ当日を迎えました。

まずは、開会式での校歌の後のラジオ体操が久しぶりだったので体操のしかたを忘れていましたが、お兄さんやお姉さん達がお手本でやってくれていたのを見ながらやりました。

クラス対抗の赤組と白組との対決で、白組が勝利しました、僕は赤チームなので負けてしまったんですが、来年は勝ちたいです。

どのチームもとても良い戦いでした、競技で特に印象に残ってるのは、午前では山あり谷ありです。障害物競走なのでフラフープで足がひっかかってしまったり、袋に上手く足が入らなかったりで体が大きいので難しかったです。色々な障害物があってワクワクして楽しかったです。

午後は、協力して頑張る積み木リレーです。箱を前の人から受け取ってどんどん積んでいくので、落ちたら協力して拾って大変だったけど、とても楽しかったです。

応援合戦では、初めて経験した応援の仕方で大い声を出すのは得意ですが、恥ずかしかったけど頑張りました。三三七拍子で見本でやっていたお兄さん達が物凄くカッコ良かったです。

縄跳び名人では、僕は、あまり縄跳びが得意ではないので、最後まで残ることが出来ませんでした。最後まで残れた人はすごいと思います。

お昼休みには、体育館で家族でお弁当を食べれて良かったです。日本の運動会では午前中で終わってしまうので、お弁当を食べずに終わってしまっていました。お母さんが朝からお弁当を作ってくれていました、とても美味しかったです。

幼稚部の子たちも、一生懸命頑張っていましたね。僕の妹は、1年生で白組なので敵チームでしたが、来年は同じ色だと嬉しいです。

来年の運動会に向けての目標を作りました、足を速くして縄跳び練習の習慣をつけていこうと思います。夏休みに入ったら外でジョギングや運動もしようと思います。

僕のお父さんとお母さんは、体育館だと天気は左右されないと、競技ごとに移動しなくても見れたり、室内なので快適で盛り上がっていて楽しかったと言っていました。

6年 工藤 丈太郎さん



幼稚園 運動会の絵

玉入れの楽しかった様子が伝わりますね！かけっこもしたはずですが

それを描いた子はいませんでした。玉入れがとても印象的だったようです。



さくら組 いけや おとはさん



さくら組 いしばし れなさん



さくら組 ふわ りんかさん



ちゅうりっぷ組 もり みなみさん



ちゅうりっぷ組 ふるいちさわさん



ちゅうりっぷ組 きうち かえでさん



さくら組 かわいけんたさん



ちゅうりっぷ組 しながき とうまさん



さくら組 しらい えりかさん

1年生の作品です。

印象に残った競技がバラエティに富んでいますね！



1年1組 阿部 慈生さん

大玉おくり



1年1組 山木 萌さん

でかパンリレー



1年1組 西村 陽華さん

徒競走



1年2組 浮田 怜奈さん

徒競走



1年2組 三隅田 雅人さん

大玉おくり

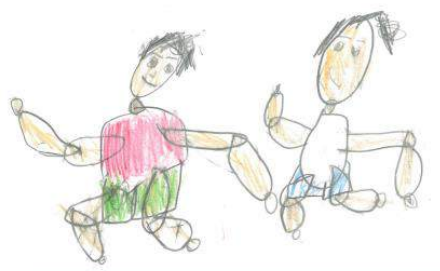


1年2組 丸井ひかりさん

玉入れ

2年生の作品です。

絵と文で運動会の熱気が伝わってきますね！



ソ	コ	ハ	マ	リ	ト	カ	セ	ウ	5
グ	ホ	ケ	マ	シ	レ	会	は	18	
を	か	が	ま	し	ま	し	て	く	18
は	ら	ち	し	た	ニ	し	ま	と	は
じ	た	た	ン	た	し	ぎ	ハ	18	
ぬ	し	い	赤	グ	カ	た	う	は	
ま	し	て	つ	組	い	り	う	ん	
す	ニ	す	ぎ	は	な	い	つ	ま	
								ど	

2年 池谷 彰人さん



ん	た	は	れ	す	ガ	ー	ウ	5
しく	ニ	ん	う	い	カ	ば	野	5
やさ	し	い	れ	に	い	く	峰	12
せん	だ	う	れ	な	の	は	陽	12
し	は	う	か	れ	リ	ウ	水	12
ま	し	た	の	つ	た	レ	ウ	12
し	る	の	と	た	コ	ー	ん	12
た	れ	で	き	で	と	で	と	12

2年 野崎 陽咲さん



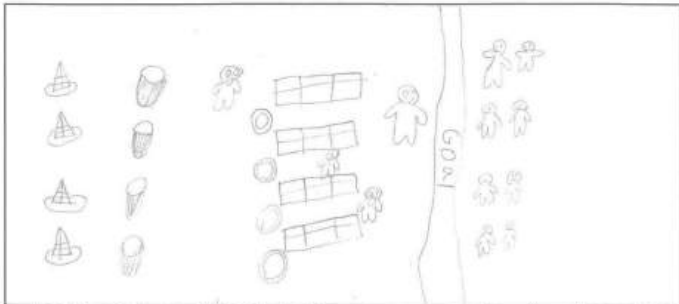
カ	マ	マ	デ	人	ス	レ	た	ゴ	ビ	キ	5
マ	カ	行	カ	行	ス	入	く	ラ	キ	ラ	5
カ	マ	カ	行	カ	行	ス	入	く	ラ	キ	18
カ	マ	カ	行	カ	行	ス	入	く	ラ	キ	18
カ	マ	カ	行	カ	行	ス	入	く	ラ	キ	18
カ	マ	カ	行	カ	行	ス	入	く	ラ	キ	18
カ	マ	カ	行	カ	行	ス	入	く	ラ	キ	18
カ	マ	カ	行	カ	行	ス	入	く	ラ	キ	18
カ	マ	カ	行	カ	行	ス	入	く	ラ	キ	18
カ	マ	カ	行	カ	行	ス	入	く	ラ	キ	18

うんどう会のきょうぎのキャタピラーレースで、すごく苦戦しました。キャタピラーレースはまえが見えないまま行って、人のいるところまで行ったら走って、なかまにわたします。ちょっとむずかしかったです。

2年 平井 亮成さん

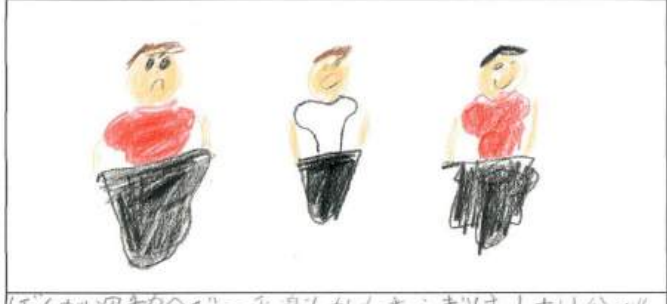
2年生になると、自分の気持ちがはっきりと文章で表現できていますね。うれしかった、くやしかった、感情表現が豊かですばらしいです。来年の目標まで立てている人がいて、すごいなあと思いました。

4年生の作品です。



ぼくは今年が補習校で初めての運動会でした。始める前は、きょうぎがむずかしくて、楽しくないかもしれないと思っていましたが、やってみるとおもしろかったです。「山あり谷あり」は、ゴミ袋に入れてジャンプできて楽しかったし、1位になれてうれしかったです。また運動会がやりたいです。

4年 結城 友晴さん



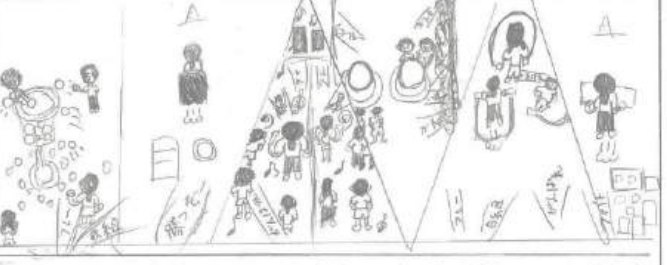
ぼくが運動会で一番楽しかったきょうぎは、「山あり谷あり」でした。ぼくは、練習に出られなかったので、ゴミぶくろくをはいてうまく走れるか、とてもきんちょうしました。しっばいすることなく走れてうれしいです。

4年 山木 峻さん



運動会で一番楽しかったのは「なわとび」です。どうしてかという、一分と二分、両方最後までできたからです。家で練習したときは、二分できななかったけど、本番では一分と二分、どちらも続けられました。お母さんと、先生、お友だちの応援が聞こえてがんばれました。玉入れも楽しかったです。どうしてかという、だんとうで勝って、50こ以上入れたからです。

4年 西野 実亜さん



5月18日(土) 補習校で運動会がありました。その時にいった種目は、玉入れ・山あり谷あり・応援合戦・大玉送り・なわとび名人・積み木リレーです。私の弟は赤組で、お兄ちゃんは白組で、どちらをおうえんすればいいのかまよっていましたが、弟は気にせずに赤をおうえんしていたので、私も赤をおうえんしました。私がとくにへんだと思ったことは、「なぜ練習では勝つたのに、本番では負けるのか」ということです。一番うれしかったのは、「なわとび大会で生き残れたこと」です。とてもうれしかったです。さいごに一番くやしかったことは、負けたことです。一生けんめいがんばったのに負けたからです。でもとても楽しかったです。

4年 杉野 友香さん

4年生は「なわとび」がとくに印象的だったようです。

お昼のすぐ後の「なわとび」はそうとうきつかったのではないのでしょうか？

二分間はとても長く感じたことでしょう。みなさん、よくがんばりましたね！



中学部 1年の作品です。

さすが中学生ともなると、行事への振り返りが深いです。

岡部 桂輔さん

先週、運動会があった。面白い競技がたくさんあり、大盛り上がりだった。例えば、「ハリケーン」という競技があり、四人で棒を以てグルグル回るものだった。走るだけじゃなかったのが楽しかった。だから運動会は大盛り上がりだった。

だけど、徒競走やリレーなどシンプルな競技もしたかった。なぜなら、力を存分に発揮できなかったからだ。例えば、見たことがない競技は楽しいけれど慣れていないから、思い切り走ったりすることができない。だから、面白い競技だけじゃなく、シンプルな競技もやりたい。

大澤 一惺さん

運動会がありました。

運動会で一番好きな種目は、「ワールドカップ」です。理由は「一位になれたから」と、としやくんをぬかしたからです。

一番きらいな種目は「大玉おくり」です。理由は、ボールが顔にあたったからです。結果は赤組が負けてしまいました。悔しかったです。でもおかしがもらえてよかったです。

校長先生に三つおねがいがあります。

一つ目は、大玉送りをなくしてほしいです。

二つ目は、サッカーを入れてください。

三つめは、お菓子をごうかにしてください。

競技種目については、準備の時間が短く、練習も十分な時間を確保できないので、毎年同じ種目にしてい

ます。次年度に向けて先生方と協議してみますね。お菓子は・・・保護者会長様に相談してみます。

畔田 理央さん

私は五月十八日の運動会に参加しました。

最初に準備体操をしました。前に出てみんなのお手本になっている先輩達が、とてもかっこよかったです。

次に玉入れをしました。私の玉は一つも入らなかったのですが、周りの人がせいいっぱい玉を入れていて、たくさん玉を入れることができました。

次は、二人三脚をしました。ペアの子と息を合わせて走りましたが、私がペアの子の足を踏んでしまい、こけそうになりました。でもまた二人で走り、無事ゴールすることができました。

一番印象に残ったのは「WORLD CUP を目指して」です。練習の時に最下位だったので不安でしたが、勇気を出してやってみると一位をとることができました。とてもうれしかったです。

吉田 唯乃さん

五月十七日土曜日は、私にとっては二年ぶりの運動会でした。今年初めてやる競技や、毎年恒例の競技もありました。

小学部の低学年の生徒や、幼稚部のさくら組、ちゅうりっぷ組の子達を見ていたら、私が幼かった時親と一緒に出ていた運動会を思い出しました。特に印象深かったのは、幼い補習校の生徒達が親と一緒に大きな布に入り、二人で協力してゴールをする競技でした。以前、私は父と一緒にアンカーとして出たことがあり、とても楽しかったからです。

運動会でお菓子をもらえる事を知っていると、元氣よく、運動会ではしゃいで勝とうと思うことができ、全ての競技が終わった後にお菓子を食することで復活したような気がしました。なので、来年も勝つ事とお菓子をもらうことを思いながら、運動会に挑みたいと思います。

高等部の作文です

鈴木 宏武さん

「この運動会で僕が学び得たこと」

僕はこの運動会であることを学びました。それは「あきらめないことの大切さ」です。

僕のいる白組は、練習で赤組に惨敗しました。特に運動会の目玉とも言える「大玉転がし」では、一回も勝つことができませんでした。他の白組のメンバーは、「これでは本番でも勝てないだろう」そう言っていました。そんなネガティブな言葉が飛び交う中、僕は言いました。

「あきらめんなよ！そんな事言ったら本番でも本当に負けるかもしれねえぞ？」

そして僕たちはどうすれば玉が落ちないか、そしてどこがダメだったのかを話し合い、本番に挑みました。一回戦目は負けてしまいましたが、二回戦目は引き分け、三回戦目では勝つことができ、そして最終戦で白組は勝ち、見事にリベンジを果たすことができました。あきらめない気持ちが無ければ勝つことはできなかったでしょう。

僕は、この「あきらめないことの大切さ」を胸に刻み、日本でもがんばっていきます。



高橋 怜央さん

去年と同様に、今年の運動会も「大玉転がし」や「応援合戦」など、様々な競技が盛り上がっていました。特に大玉転がしでは、チーム全員が力を合わせて大玉を運ぶ様子が、チームワークの大切さを感じさせられました。一人ひとりが役割を果たし、連携していくことで、大きな目標を達成する喜びを味わいました。また応援合戦では、赤白それぞれの団結力が感じられました。団長が指揮をとり、全員が一丸となって応援する姿は、とても感動的でした。応援合戦を通じて、勝利への熱い思いや仲間との絆が深まりました。運動会では、競技だけでなく友情や努力、協力の大切さを学ぶことができました。チームでの連携や応援合戦での団結力は、学校生活や将来においても役立つ、貴重な経験となりました。この運動会を通じて、仲間との絆を深めるとともに、自分自身の成長も感じる事ができました。今後もこの経験を生かし、さらなる挑戦に向かって頑張っていきたいと思います。

嶋田 祐弥さん

「運動会を終えて」

運動会で僕は音楽係を担当しました。僕は、みんなが運動会で一緒に盛り上がる曲をテーマに、いろいろな曲を選びました。音楽は僕の得意なことだったので、最初は余裕だろうと思っていましたが、みんなで盛り上がる曲プラスみんなが知っている曲にした方が良いと思い、自分が知っている曲で、みんなも知ってそうな曲をスマホに入れてみたら少なく、本番までに間に合うのだろうか？と思いました。でも親や友達などに聞いて、なんとか本番までに30曲以上をスマホに入れることができました。さらに、応援団にもみんなで力を入れて取り組みました。チームのみんなと一緒に応援合戦のセリフを考えて、「このタイミングで中学生に前に出てもらおう」など、いろいろなことを話し合いました。今回の運動会を通して、先輩達とも話合いや係などで親交を深めることができたと思います。他の学年の子たちもとても生き生きとしていました。今回の運動会はとてもすてきなものになったと思います。

池田 貴紀さん

「運動会を振り返って」

今年の運動会は、僕が補習校に来て二度目の運動会でした。一度目の運動会は、中学三年生の時で、走って跳んで投げて、とても楽しい運動会でした。しかし今年の運動会は、高校生という立場のため、ただ競技をやるだけではなく、放送をしたり、ゴールテープを持ったり、スタートの合図をしたりして、運動会の運営をしました。今までなんとなく聞いていた放送は、タイミングや場の空気を読まないといけなかったり、今まではただ駆け抜けていたゴールテープはテープの長さが重要だったり、大変でした。しかし、放送やゴールテープがなければ運動会は成り立ちません。一度目の運動会はこれら的大変さを知りませんでした。保護者の方々や先生方の支えがあって運動会を行えました。僕は今まで支えられてばかりでしたが、この運動会を通して人を支える大変さを知りました。

岡部 洋輔さん

「新たなチャレンジ」

今年の運動会で、私には二つの課題があった。一つは白組を優勝に導くこと。もう一つは放送係としての役割を果たすことだ。高校生になり、団長やプログラムの作成など重大な仕事を任せられるようになり、私は放送係となった。私はこれまで一度も、そのような仕事を受けたことがなく、私にとって放送係は新たなチャレンジだった。実況、音楽の調整、放送係に課せられる使命は多い。しかし私は放送係の仕事を楽しみ、どの種目にも人一倍努力した。そして白組は優勝し、運動会は大成功した。私はこのチャレンジを乗り越え、一つのことを学んだ。それは、成功するには誰よりも楽しむことだと。楽しめば自然とやる気が湧いてきて、誰よりも一生懸命になれるからだ。そういう意味で私にとってこの運動会は、優勝以上のものを手に入れることができたと思いました。

限りある授業時間の中で、高等部の皆さんはとてもよく、準備と運営に携わってくださいました。本当にご苦労様。そしてありがとうございます。作文は原文を尊重していますが、読みやすくするために句読点や漢字、表現に少し加筆しています。

